

令和3年8月23日

## 「デルタ株」感染拡大の危機を乗り越えるために

瀬戸市教育委員会

まもなく2学期が始まります。2学期は運動会や体育祭、文化祭、修学旅行など、様々な学校行事が行われ、子どもたちにとってたくさんの思い出が作られる時期です。感染対策を続けながらの制約を受けた中で、少しでも充実した学校生活を送れるよう、努めてまいりたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

デルタ株については、感染力が強いいため危機感を持って対応していく必要があります。

感染に強い学校づくりとして各校では、マスクの着用、教室の換気、手洗いの励行など、当たり前となってきた新しい生活様式を再確認し、徹底に努めてまいります。

本日8月23日（月）より、瀬戸市在住の12歳以上のすべての方が、ワクチン接種予約をできるようになります。ご家庭内におきましても、引き続き不要不急の行動の自粛や感染対策の徹底に努めていただき、子どもたちが少しでも2学期の学校生活を楽しむことができるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

ワクチン接種を受けるか迷っている皆さん、  
私は、専門医として、ひとりでも多くの人に受けてほしい、  
と思っています。

もちろん私も受けました



先行する海外の事例でも、ワクチン接種を受けた人と受けていない人とを比べると、感染した人の数、症状が出た人の数、入院した人の数、重症になった人の数、亡くなった人の数、いずれも大きく減っています。  
接種後の副反応が報告されていますが、ほぼすべてが数日で回復しています。  
新型コロナウイルス感染症にかかったり、重症化して苦しむ人をこれ以上増やさないために、そして、我々の日常を取り戻すために。

公立陶生病院 感染症内科  
医師 武藤 義和

<広報せと 8月15日号より>